



2021年4月9日

各位

会社名 株式会社プロルート丸光
 代表者名 代表取締役社長 安田 康一
 (JASDAQ・コード: 8256)
 問合せ先 取締役執行役員
 事業統括本部長 森本 裕文
 (TEL 06-6262-0303)

通期連結業績予想及び 配当予想の修正に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、2020年5月1日に公表した2021年3月期(2020年3月21日～2021年3月20日)の連結業績予想及び未定としておりました2021年3月期の期末配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月21日～2021年3月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,640	100	85	50	1.76
今回発表予想(B)	5,810	70	60	12	0.42
増減額(B-A)	△829	△30	△25	△38	
増減率(%)	△12.5	△30.0	△29.4	△76.0	
(ご参考)前年実績(2020年3月期)	5,770	△405	△437	△1,191	△51.08

2. 修正の理由

当期の当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2度の緊急事態宣言が発出され、アパレル製品への個人消費が大きく低迷する中、主力の総合衣料卸売事業において想定を大幅に超える売上の落ち込みを経験しました。そのような環境下であっても、長年の歴史で培った多くの取引先を背景に、アパレル製品以外にも小売店の要請に応えた衛生関連商品をはじめとする新規商材の提供や、新たに期中より取組んだ新型コロナウイルス抗体・抗原検査キットの販売等により通期計画の達成を果たすべくグループ一丸となって売上の拡大を図ってまいりましたが、売上高におきましては、前年実績は上回るものの、当初計画には達しない見通しであります。

利益面におきましては、一連の事業構造改革によるグループあがてのコスト削減や、新たな収益事業の推進等により、黒字安定化を目指すべく取組んでまいりました。また、連結子会社である株式会社 Sanko Advance では、コンサート開催が厳しい環境下オリジナルコンテンツの育成等新たな事業のチャレンジを行い早期の収益化を達成しております。連結子会社である株式会社サンモールにおいては店舗閉鎖による特別損失 13 百万円を計上する見込みですが、在庫販売等において収益化を達成する事ができました。

その結果、

前期 405 百万円であった営業損失が 70 百万円の営業黒字化
 前期 437 百万円であった経常損失が 60 百万円の経常黒字化
 前期 1,191 百万円であった親会社株主に帰属する当期純損失が 12 百万円の最終黒字化（子会社サンマー
 ルでの特別損失含む）

と、各段階利益において前期より大幅に改善する見通しではありますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初売上計画が達成できなかったことに伴い、利益面につきましても当初計画を下回る見通し
 あります。

計画作成当時には想定をし得なかった新型コロナウイルス感染症拡大という厳しい局面の中、目標の達成
 に向けて役員、従業員、グループ会社一丸となって取り組みを行った結果、「黒字安定化」に向けた最低限
 の目標を達成できた事は当社グループにとって大きな自信となりました。また、当期目標未達成の大きな要
 因となった総合衣料卸売事業に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大局面での売上消失に後押しされる
 形で、その変革のスピードが大きく進捗し、来期以降の主軸とする D2C ビジネス事業や EC プラットフォー
 ム事業への足掛かりを前倒して行っております。

3. 配当予想の修正

(1) 2021 年 3 月期期末配当予想の修正

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2020 年 5 月 1 日発表)	—	—	—	未定	未定
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(2020 年 3 月期)実績	—	0.00	—	0.00	0.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への継続的利益還元を重要な経営課題の一つと考え、企業基盤の強化及び今後の事
 業展開を勘案した上で、業績に対応した配当を行うことを基本方針としております。

2021 年 3 月期は、上記「1. 2021 年 3 月期通期連結予想数値の修正」のとおり、事業構造改革や新た
 な収益事業の取組みにより、3 期ぶりの営業黒字化となる見通しではありますが、前期、前々期と大幅な損
 失を計上しており、内部留保の積み上げによる財務体質の強化が最優先事項と判断したため、誠に遺憾な
 がら当期の配当予想を「未定」から「無配」へ修正することといたしました。一方、株主様への還元策と
 して、当社販売商品である「カラタスチャンプーギフトセット」を 1,000 株以上保有されている株主様へ
 お届けする株主優待制度導入を 2021 年 2 月 2 日に公表しております。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますの
 で、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 本資料に記載しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、
 実際の業績は様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上